

令和 8 年市政報告会内容報告（各地区公民館での意見交換内容の概要）

地区名	日時	内容
紀見	8 月 4 日(火) 19:00～	○ムスリム土葬墓地の管理についてどう考えるか。これ以上増やさないようにしてほしい 【総務部長】 土葬で懸念されるのは水質の問題で、環境的に水源地に近い場合などでは、設置許可も出にくい状況があると考えます。既に過去から土葬されている場所については、水質検査を実施し基準も満たしています。今後の墓地の広がりについては、現在の墓地の周囲はほぼ市の土地になっており、その状況下では容易に拡大されないと想定しています。 ○台風で大きな木が倒れ、道路まで落ちてきそうになっていた。何とかしてほしいと市へ要望したが、個人の土地だから対応できないと言われた。対応としては理解できるが、もう少し柔軟な対応が取れないか検討してほしい 【建設部長】 原則、民地のものは民地での処分をお願いすることになる。ただし、一定の判断基準はあるとしても、人命等への危険性が高い場合などは、人命・財産などを第一に、適切に対応していきたい。 【経済推進部長】 市では、森林の所有者に対して小規模森林の処分に関する補助金を用意しており、最大 30 万円まで交付できる制度があります。申請には条件もあるので、農林振興課へご相談ください。 ○橋本駅前広場の整備の計画について 【建設部長】 市としては当初、官民連携で民間企業と一緒に進めていく考えがあったが、進めていく中で民間企業との方針にズレが生じてきたため、現在は、民間企業に任せ、行政ができる範囲での応援をしていきたいと考えています。 ○小学校中学校の体育館の冷房化、どういう計画で、いつまでに完了する予定か 【教育部長】 計画では令和 15 年度までに各小中学校の体育館へ備える予定にしていますが、小中学校の体育館は避難所に指定されているという観点からも、現在、計画を少しでも早められないか調整しているところです。

		○地域コミュニティの加入率の低下などの弱体化と、自治会の加入未加入の不平等感について、市はどう捉えているか 【総合政策部長】 コミュニティの弱体化・担い手不足について、市としても非常に危機感を感じています。 担い手不足の要因の一つである自治会の活動などでの広報や回覧など、若い人が負担に感じる部分の解消として、デジタル化促進などを目的とした SDGs 交付金を交付しています。 この交付金を活用し、できるだけ地域の人に関わり、行政も協力しながら顔の見える関係を構築し、自治会加入につなげられればと考えています。 自治会の加入・未加入の不公平感については、自治会に入っていない方に関して、地域活動の重要性を理解していただき、入っていただけるよう説明するしかないと思っています。そのためには、やはり顔の見える関係性が必要になってくると考えております。 【市長】 広報の配り方についても民間業者への委託などの方法も含め慎重に検討していきたい。 ○地域の見回りや医療・介護等の DX を活用した取り組みについて。また、高齢者に IT インフラを活用してもらうにはどういう取り組みが必要かを考えてもらいたい 【病院事務局長】 7 月 3 日に国から地域医療構想のガイドラインが出されました。これを受け、2028 年までに和歌山県の地域医療構想が立てられ、それに基づき橋本の医療圏の医療の在り方などを総合的に考えていく議論に入っていく流れとなっています。 医療の DX については、市民病院としても、将来を見据えたオンライン診療について、医師に研修を受けてもらう等の準備を進めています。 【健康福祉部長】 地域包括ケアシステムの構築という考えのもと生まれた第 2 層協議体の中で、地域の困りごとや課題について、行政も関わりながら、一緒に解決策の検討を進めているところです。 高齢者の IT の活用は難しい点もあるかと思いますが、福祉の分野というのは、人と人のつながりや顔の見える関係を作りながら、支え合っていくことが大事だと考えています。 【市長】 高齢者のひとり暮らしの方のために、社会福祉協議会で制度をつくり来年から進めていく予定です。できるだけひとり暮らしの皆さんに寄
--	--	---

		り添った形で、運営をしていきたいというふうに思っていますので、もう少し時間をください。また、ごみの福祉収集の対象範囲なども含め、本当に必要な人のために、考えていきたい。 ○市役所新庁舎の検討の中で、ソフト面での構想について考えているか。 また、行政の DX 化の「書かない窓口」「行かない窓口」というのは、具体的にどのようなことを考えてくれているか 【総合政策部長】 昨今は電子化により社会情勢は目まぐるしく変化しています。市でも今年 1 年かけて、条例等の改正も含めた、電子化できる業務について徹底的に取り組もうと考えてます。今後の市の業務としてはオンライン化や AI 活用などにより定型的な業務は減少し、福祉分野における子育てなどの複雑な相談業務などは逆に手厚くなっていくと考えてます。それらの構想を網羅したコンパクトな庁舎の建設を考えていきたいと思っています。具体的な計画はワークショップ等で、住民の皆さんの意見もしっかり聞かせていただきたいと思います。 【市長】 これからの役所は、相談機能が非常に重要になってくると思います。高野口地区公民館に設置している遠隔窓口も全然利用がないので、利用者が見込める公民館へ移設することも考えている。 新庁舎の大きさに関しても、今後の市の人口推移なども踏まえながら必要なサイズを考えていければと思います。
--	--	---